

那須烏山市総合計画 基本構想（案）に対する意見のまとめ

※反映の方向性

- 『①：提案どおりに案に盛り込む』
- 『②：提案の趣旨を踏まえ案内容に反映』
- 『③：今後の基本計画等において要検討』
- 『④：その他』

(第3回審議会、パブリックコメント・まちづくりミーティング・職員出前広聴)

項目	意見内容	反映の方向性
<p>II 那須烏山市の将来像</p> <p>■ 計画フレーム</p>	<p>『目標人口は 30,000 人に設定を』 ⇒</p> <p>○実際に 30,000 人の実現は困難だろう。</p> <p>○現時点では、プランの前向きな部分と実質的な部分とのマッチングは難しい。いかに 30,000 人を実現するためのチャレンジプロジェクトとするかは執行部にかかっている。</p> <p>○目標人口を 30,000 人に設定した場合の予算編成などが懸念される。推計値 27,000 人ありきか或いは目標値 30,000 人ありきかでは大きな違い。あくまで計画であるため、目標値に合わせて予算編成することはないと思うが。</p> <p>○結局 30,000 人は夢と希望。現実には 27,500 人。夢と希望を切り離し、現実重点を置いて政策を進めていけば大丈夫。</p> <p>○今年 1～4 月の 58 人の減少内訳を、転入・転出の社会増減に限って見てみると 18 名の社会増となる。人口減少の大きな要因が死亡による自然減にあるという現状と、社会増の見込める企業誘致等の政策とを考慮合わせれば、30,000 人の設定は妥当だと思う。また、課税についてはあくまで住民基本台帳に基づいて行われるため、目標人口 30,000 人が財政上に影響を与えることはないだろう。</p>	<p>①：提案のとおり</p> <p>※基本構想（案）：計画フレームに既に掲出</p>
<p>IV 施策の大綱</p> <p>■ 居心地のよい安全なまちづくり</p>	<p>『畜産等の臭気への対応を』 ⇒</p> <p>○住みよいまちにするためには、畜産等の臭気を抑える取り組みが必要。住宅団地や畜産団地に配慮すべき点を計画に盛り込んで欲しい。敷地の規模による制限なども検討すべき。</p> <p>『適切な道路環境の維持を』 ⇒</p> <p>○目立った道路の整備は良くなっていくが、後始末（雑草等）で道幅が狭くなっている。</p> <p>『生活道路の充実を』 ⇒</p> <p>○生活道路については、置き去りにされている感じ、穴の開いたところは、その都度ダング状態の補修。</p>	<p>③：要検討</p> <p>※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討</p> <p>※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討</p> <p>※基本計画（たたき案）で検討中</p>

項目	意見内容	反映の方向性
<p>IV施策の大綱</p> <p>■安心して暮らせる思いやりのまちづくり</p> <p>■人と文化を育むふれあいのまちづくり</p> <p>■活力あるにぎわいのまちづくり</p> <p>■自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり</p> <p>■市民とともにあゆむ行政経営</p> <p>■効率的で質の高い行政経営</p>	<p>『小児医療体制の充実を』 ⇒</p> <p>○人口を減らさないようにするために重要な点としては、子育て環境が大きくかわると思う。各地の小児医療体制が弱体化している現在、小児医療体制を充実させると（特に深夜、土曜祝日の緊急医療体制）、それだけでも十分に売りにすることができ、それを強化してPRしていくことで、人口減を防ぐことにつながれると思う。</p> <p>『教育の見直しを』 ⇒</p> <p>○“小人閑居して不全を為す”ということわざもあるが、安全・安心を背景とした小人教育を見直すことも必要だと思う。</p> <p>『休耕田の有効活用方策の検討を』 ⇒</p> <p>○那須烏山の地域特性を活かすという観点からすると、休耕田を利用したバイオ燃料の取り組みが考えられる。農業基盤の整備が重要。</p> <p>『JR烏山線の観光資源としての活用を』 ⇒</p> <p>○JR烏山線は観光資源になると思います。例えば、日光における“華厳の滝”です。栃木は日常生活で自動車に乗る機会が非常に多い。だからこそ、休日に鉄道に乗ることは楽しみの一つになると思います。鉄道に乗る楽しさを伝え、理解していただければ、烏山線に観光客が大勢お見えになると思います。烏山線は宇都宮に直通して、新幹線に乗り換えできます。南関東地方から、又は全国から人を呼べます。駐車場を作り、自家用車、大型観光バスを迎えてもいいと思います。</p> <p>『適切なごみ収集や処理の推進を』 ⇒</p> <p>○“適切なごみ収集や処理”の文言があるが、区長会議などでごみ収集箇所の削減の取り組みが進んでいる。実態と矛盾のない表現を。</p> <p>『市民参加を促す仕組みの検討を』 ⇒</p> <p>○まちづくりミーティングの試みも含めて、市民の参加が少ないのは非常に残念。例えば専門分野ごとに説明会を実施すれば、それぞれに関心を持つ市民の参加も見込めると思う。</p> <p>○協働が謳われているが、果たしてそれがなされるかどうか。そのためには、市民が自由に物を言えることが重要。</p> <p>『職員の飲酒運転防止の徹底を』 ⇒</p> <p>○職員に対する綱紀粛正に努めるべき。特に、飲酒運転の防止については徹底した取り組みを。</p>	<p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>④：その他 ※基本構想（案）：施策の大綱・学校教育の充実に掲出の内容を基本視</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>④：その他 ※基本構想（案）：施策の大綱・公共交通網の充実に掲出の内容を基本視</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p>

項目	意見内容	反映の方向性
<p>IV施策の大綱</p> <p>■効率的で質の高い行政経営</p> <p>■無駄のない自律的な行政経営</p>	<p>『法令遵守の徹底を』 ⇨</p> <p>○総合計画に法令遵守（アカウントビリティ：責任、責務の意）を書き加えて下さい。日本中の官民及びプロ野球・高校野球迄もが法令に反している今日、市も同様です。雪印乳業、不二家は存亡の危機に遭い、西武球団では社長を解任し西武ホールディングスの社長が法令遵守室長を兼任することになった記憶が新しい。平成18年度を見ても、いかんべ祭の寄付集め他多数。</p> <p>『廃校の有効活用方策の検討を』 ⇨</p> <p>○廃校利用について言えば、交流人口増加のための活用（まちの駅にはもってこい）や大人教育の場として活用を検討して欲しい。</p> <p>『新本庁舎は烏山市街地に配置を』 ⇨</p> <p>○“将来都市構造”に示される“都市活動拠点エリア”内への庁舎の配置で異議なし。</p> <p>『烏山女子校跡の有効活用方策の検討を』 ⇨</p> <p>○烏山女子校周辺の道路は、現状ではバスの乗り入れも不可能。市庁舎のみではなく、広い視点での活用方策を検討すべき。例えば、過去に県職業訓練校の立地の話が立ち消えになった経緯があるが、企業の誘致のみならず、各種学校の誘致は定住促進のプラスとなるはず。個人的に、烏山女子校跡については、文化活動の場となる公民館として活用すべきと考えている。</p> <p>○茂木町では廃校をデイケアホームとして民間活用している。烏山女子校跡の公民館としての活用は、アクセスに難はあるにせよ、市役所として活用するよりは良いと感じる。</p> <p>『行財政改革の推進を』 ⇨</p> <p>○“計画策定の趣旨”に“厳しい財政事情”とあるが、予算や借金がいくらあり、どう返却していくのかを明らかにする必要がある。</p> <p>○行財政改革について。きちんと実行されなければ、夕張市のように破綻する恐れがある。“事務事業等の見直し”や“補助金適正化”などが鍵となるだろうが、その実現は職員が勇気をもって執行部に意見できるかどうかにかかっている。</p> <p>『バランスシートの作成を』 ⇨</p> <p>○自治体民間を問わず財政（歳入、歳出、財政調整基金、借金が幾らあるのか）が基本です。バランスシートを拵えれば5年後、10年後が見えてきます。</p>	<p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>①：提案のとおり ※基本構想（案）：将来都市構造等に既に掲出</p> <p>②：趣旨を踏まえ反映 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p>

項目	意見内容	反映の方向性
<p>V 『ひかり輝くまちづくり』のための重点戦略</p> <p>■重点戦略1：定住を促すまち戦略</p>	<p>『自然を活かした観光物産の取り組みを』 ⇨</p> <p>○那須烏山市は山紫水明のまち。大木須・小木須・横枕の自然を活かした観光物産をはじめ、市になって良かったと思える取り組みを一つでよいから進めてほしい。</p> <p>『財源確保に向けた工業の振興を』 ⇨</p> <p>○財源の確保は大切。工業の情報などPRしながら進めてほしい。</p> <p>『バイオエネルギーの導入・検討を』 ⇨</p> <p>○本市がこれまでの歴史上（木材・木炭を江戸に供給）そうであったように、エネルギー基地としての特性を創出していけないか。そのためには、バイオエネルギー（エタノール化など長期対応の予測されるバイオマスに限らず。メタンガス等）を有効利用することが得策。廃校を活用した集落発電などが考えられ、地場産業の振興にもつながるはず。</p> <p>『活性化に向けた交流人口増加の取り組みを』 ⇨</p> <p>○毎日のように新聞をチェックするが、那須烏山市の話題が取り上げられることは少ない気がする。“まちづくりの課題”に“特色あるまちづくり”が掲げられているが、例えば街なかの珍しい木や花をアピールし、多くの方々に立ち寄っていただき、活性化につなげていく努力をすべき。先日などは、珍しい“ハンカチの木”が新聞で紹介され、実際に多くの人が見に訪れている。</p> <p>○チャレンジプロジェクトの取り組みに“交流人口の増加”がある。“ITを活用した観光PRの推進”の内容に合致すると思うが、表現していかなければ見てくれる人も来てくれる人もいない。HPの公開などは那珂川町が進んでいるが、最近では新聞紙上にも那須烏山市の話題が比較的取り上げられるようになってきた。逆に、とちぎテレビなどでは地域を報道する番組が見当たらない。情報をどのように共有していくかがテーマとなる。宮崎県の東国原知事が行っていることが良い例。なんでもないようなことを、独自性をもって上手く伝えることで大きな成果が得られる。</p>	<p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p> <p>③：要検討 ※基本計画（たたき案）で検討中</p>

項目	意見内容	反映の方向性
<p>※総合計画全般</p> <p>■総合計画の愛称について</p> <p>■計画の進行管理について</p> <p>■その他</p>	<p>『愛称は“ひかり輝くまちづくりプラン”とする』 ⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりの基本理念には“ひかり輝く”とある。“輝けプラン”では命令形。“輝くプラン”が良い。 ○未来に向かうものとして“はばたけプラン”なども考えられる。 ○まちの活性化は市民の一人ひとりの元気につながる。“生き生き”或いは“生き生き”の表現はどうか。“輝き”にもつながるのではないか。 ○福祉の分野で“生き生き”の表現は多用される。“輝け”でも良いと思う。 ○素直に“ひかり輝くまちづくりプラン”で良いと思う。 ○基本理念に合わせるかたがが良い。 ○特に通称を設ける必要もない。 ○“計画”は片仮名の表現が良い。 ○基本理念の内容そのままに“ひかり輝くまちづくりプラン”としたい。 <p>『計画の進行管理・施策の評価のための仕組み・組織のあり方を検討すべき』 ⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画をつくったは良いが、実施されないケースが多々ある。具体的な施策に真摯に取り組むべき。 ○行政が評価するのではなく、市民が評価する委員会組織もつくるべき。 ○基本計画については様々な意見が吸い上げられ、素晴らしいものが出来上がると思うが、細かい項目となった時にそれがキチンと行われるかどうかの問題。 ○プロジェクトの進捗状況を把握するためにも、プロジェクト監視委員会のような組織は必要であろう。 <p>『那須烏山市独自の施策の打ち出しを』 ⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金太郎飴のような基本構想となる嫌い。那須烏山独自の施策の打ち出しに期待。 	<p>①：提案のとおり</p> <p>③：要検討</p> <p>※行財政基盤強化プロジェクト、行 3-1-1 に記述あり</p> <p>※計画の進行管理・市民による外部評価等の方向性について要検討</p> <p>③：要検討</p> <p>※基本計画（たたき案）重点プロジェクト等にて対応</p>